

2019年度認知症地域支援推進員研修



連携・連動！ 認知症地域支援の構築



佐賀県ってこんなところ

玄界灘



呼子のイカ



有明海



佐賀牛



「九州旅行」を計画してみませんか？
佐賀って意外と身近な場所ですよー
ぜひご検討ください!!

【空路】

東京⇄佐賀 (100分) 6 往復 成田往復もあります
東京⇄福岡 (90分) 各社1時間1本以上

【JR】

博多⇄佐賀 (35分) 特急30分1本以上
新鳥栖⇄佐賀 (10分) 特急30分1本以上
新鳥栖⇄博多 (10分) 新幹線30分1本以上
新鳥栖⇄熊本 (25分) 新幹線30分1本以上
新鳥栖⇄鹿児島 (70分) 新幹線30分1本以上

佐賀国際空港
バルーンフェスタ



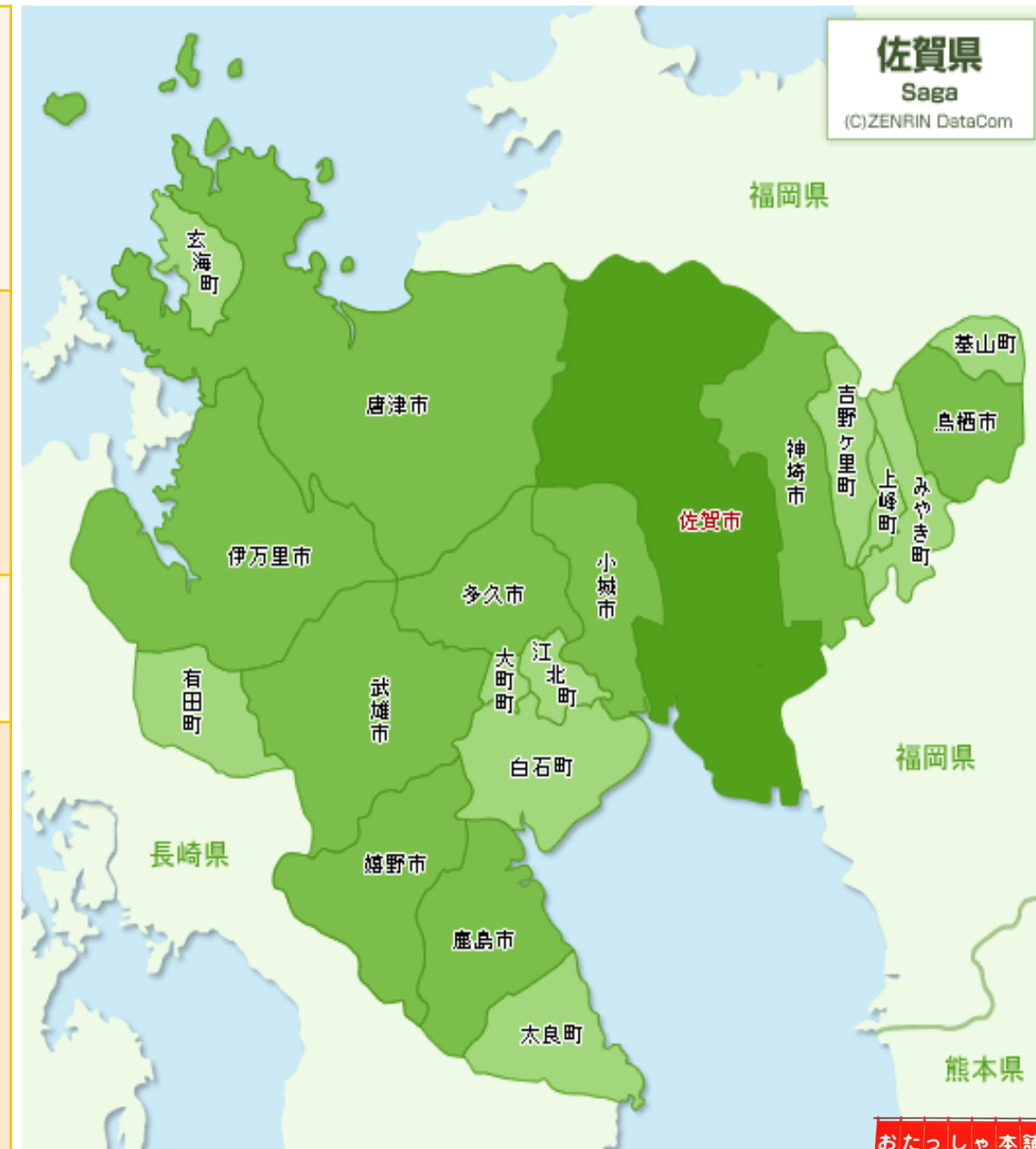
吉野ヶ里遺跡



写真提供: 佐賀県観光連盟

佐賀市ってこんなところ

佐賀市について	佐賀県の県庁所在地（施行時特例市）。2005年、2007年に新設合併。面積431.84km ² 。市北部は福岡市と隣接した山間部で市南部は有明海に面し、市中心部は佐賀平野の中心付近に位置。
人口・高齢率・ 高齢者数	233,341人（99,221世帯） 高齢率27.2%（高齢人口63,440人） ✓ ここ10年で人口は5,000人減少 ✓ ここ10年で世帯数は約9,000件増加（高齢者単身、高齢者のみ世帯増加）
地域包括支援センター	15ヶ所 中学校区・日常生活圏域に1ヵ所設
認知症地域支援推進員配置状況	専任1人・兼任14人（地域包括支援センターに配置） ✓ 佐賀市高齢福祉課（専任）[平成25年配置] ✓ 市内地域包括支援センター15ヶ所（兼任）[平成29年4月配置] ✓ 認知症地域支援推進員は「生活支援コーディネーター」との兼務



「認知症地域支援推進員」は「生活支援コーディネーター」と兼務で「地域包括支援センター」に配置

全地域包括支援センターに推進員として配置されたものの、何の活動をするのか、他の地域の取り組みはどんなことをしているのかなど、当初は迷いや不安がありました。

何をすればいいの？

ほかの推進員さんはどんなことしているのかな？



地域のこともよくわからない・・・

「連携」ってどこですればいいのか・・・

市連絡会

生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員連絡会

【開催頻度】毎月

【参加者】生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員、社会福祉協議会市生活支援体制整備・認知症施策担当者等

【内容】毎月テーマに沿って実施し、それぞれの計画に基づいた進捗状況を確認

【効果】担当圏域外の取り組みがわかり参考にできる。情報を共有し、事業・活動によっては協力して展開することも可能。



佐賀市高齢者保健福祉計画（2018-2023）

基本理念：地域で支えあい自分らしくいきいきと生活できる社会の実現

目標 1. 地域で支えあう仕組みづくり

（社会保障充実分。認知症施策関連。）

目標 2. 健康づくりと介護予防の推進

（健康づくりと介護予防・日常生活支援総合事業）

目標 3. 社会参加と生活環境の整備

（社会参加できる環境整備と社会参加につながる生活環境整備）

目標 4. 自立と安心につながるサービスの充実

（その人らしい自立した生活。介護者支援。見守り支援の構築）

市が求める推進員としての役割

認知症地域支援推進員それぞれが役割を理解し、認知症の人やその家族への相談対応、地域の実情にあった医療・介護連携等を含めた地域づくりを展開していく。

佐賀市の認知症施策事業

I

認知症の理解を深めるための普及啓発の推進

認知症サポーター養成講座

よりよい講座を目指すため、「佐賀市キャラバンメイト交流会（年間２回）」を定期開催
の報告、情報共有 ・ 認知症介護指導者、若年性認知症コーディネーターからの情報提供
家族の会からの情報提供 ・ 市施策について共有

- ・ メイト活動状況
- ・ 認知症の人と家族

II

認知症の容態に応じた適時適切な医療、介護等の提供

初期集中支援チーム

平成２８年設置。専門医、保健師、社会福祉士、作業療法士、管理栄養士等で構成。
初期支援を包括的・集中的に対応。

認知症ケアパス

平成２８年３月第一版リリース。平成３０年４月第二版をリリース。

もの忘れ相談室

平成１５年開設。専門医、保健師と在宅介護支援センター配置。当初は利用者も多かったが地域包括支援センター設置など窓口が増えたこと、医療連携が推進されたことなどから現在は減少傾向にある。

予防支援

「脳いきいき健康塾」「脳若教室（iPad活用プログラム）」「音楽サロン」

佐賀市の認知症施策事業

Ⅲ

若年性認知症施策の強化

若年性認知症施策

「佐賀市キャラバンメイト交流会」にて若年性認知症コーディネーターによる研修会を開催

Ⅳ

認知症の人への介護者への支援

認知症カフェ

佐賀市では認知症カフェを「認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき集う場所。認知症に対する悩みを持つ方が気軽に立ち寄り地域の人にも理解される場所」としている。平成30年4月現在10箇所。

認知症ダイヤル

平成12年に専用ダイヤルを開設。当初は利用者も多かったが地域包括支援センター設置など窓口が増えてきたため現在は減少傾向にある。

V

認知症の人を含む 高齢者に優しい地域づくりの推進

高齢者見守りネットワーク事業

平成24年開始事業。見守る人、見守られる人を特定せず事業活動の中で見守りをしていただける事業者を幅広く募る。市内の協力事業者は約1,062

認知症地域支援推進員事業（活動）計画

新オレンジプラン 7つの柱	その他	国の目標値 (H29.7.5目標更新)	市の活動計画	市の目標値 (H30.3佐賀市高齢者保健福祉計画)	めざす姿 (長期目標)	認知症地域支援推進員の活動計画 (全包括)	H31 計画(太字は必須)	H31 活動状況	H31 活動に対する評価
地域の実態把握			○推進員へ、国・県・市の情報提供 ⇒国・県から最新情報の提供 ⇒連合からの介護保険認定者の認知症関連集計情報の提供 ⇒地域資源の情報提供 ○高齢者実態調査の実施と認知症地域支援推進員への集計結果報告		○国・県・市・地域の実態が分かる ⇒情報の見える化 ○認知症に関する課題を掘り起し、整理することができる	○地域の実態を把握する ⇒地域特性、地域資源(関係機関・団体・人材等) ⇒サロン・コミュニティカフェ・認知症カフェ等現状把握と情報収集 ○地域の情報や相談事例等から、認知症の方と家族の生活実態と課題を知る	○協議会、ネットワーク、予防教室等で地域の実情把握につとめ、分析した情報の共有も図っていく。		
1 認知症の人への理解を深めるための普及・啓発の推進		【認知症サポーターの人数】 H32年度末 1,200万人 【認知症サポーター養成講座について】 ⇒自治体が認知症サポーター養成講座受講者を把握する ⇒H30年度～養成講座において、認知症サポーターが地域でできる活動事例等を紹介する	○認知症サポーター養成講座について ・重点目標：小・中・高校向け講座開催 ・キャラバンメイト交流会の開催 ・キャラバンメイト関連研修の情報提供 ・見守りネットワーク登録事業者への市民公開講座の案内 ○教材や資料の共有等、養成講座を気軽に開催するための体制づくり ○講演会の開催やパンフレット等の各種広報媒体を用いた周知啓発活動を実施	【佐賀市の認知症サポーターの人数】 H30 1,800人 H31 1,900人 H32 2,000人	○多くの市民が、認知症に関する情報や相談先を理解している	○認知症に関する事業・制度の住民の周知とその推進 ⇒認知症に関する情報の発信 ⇒推進員活動のPR ⇒広報誌等の発行 ⇒本人が集う取組みの普及 ○認知症の人と家族の思いを聴き、必要な情報提供や支援につなげる ○地域で認知症サポーター養成講座を開催する ⇒他キャラバンメイトとの連携 ⇒地域内の団体・学校等へ養成講座の開催を依頼する ⇒市民公開講座への参加呼びかけ ⇒キャラバンメイト交流会への参加連携	○認知症サポーター養成講座について ・県キャラバンメイト(フォローアップ)研修受講 ・小・中学校へ講座実施の働きかけを行う		
2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供		【認知症初期集中支援チーム設置市町村数】 H30年度からすべての市町村で実施 【認知症地域支援推進員】 所管市の縦横関係により効果的な取組の推進 【認知症初期集中支援チームによる対応】 H28年度末 1,200万人 H29年度末 1,300万人 H30年度末 1,400万人 H31年度末 1,500万人 H32年度末 1,600万人 H33年度末 1,700万人 H34年度末 1,800万人 H35年度末 1,900万人 H36年度末 2,000万人 H37年度末 2,100万人 H38年度末 2,200万人 H39年度末 2,300万人 H40年度末 2,400万人 H41年度末 2,500万人 H42年度末 2,600万人 H43年度末 2,700万人 H44年度末 2,800万人 H45年度末 2,900万人 H46年度末 3,000万人 H47年度末 3,100万人 H48年度末 3,200万人 H49年度末 3,300万人 H50年度末 3,400万人 H51年度末 3,500万人 H52年度末 3,600万人 H53年度末 3,700万人 H54年度末 3,800万人 H55年度末 3,900万人 H56年度末 4,000万人 H57年度末 4,100万人 H58年度末 4,200万人 H59年度末 4,300万人 H60年度末 4,400万人 H61年度末 4,500万人 H62年度末 4,600万人 H63年度末 4,700万人 H64年度末 4,800万人 H65年度末 4,900万人 H66年度末 5,000万人 H67年度末 5,100万人 H68年度末 5,200万人 H69年度末 5,300万人 H70年度末 5,400万人 H71年度末 5,500万人 H72年度末 5,600万人 H73年度末 5,700万人 H74年度末 5,800万人 H75年度末 5,900万人 H76年度末 6,000万人 H77年度末 6,100万人 H78年度末 6,200万人 H79年度末 6,300万人 H80年度末 6,400万人 H81年度末 6,500万人 H82年度末 6,600万人 H83年度末 6,700万人 H84年度末 6,800万人 H85年度末 6,900万人 H86年度末 7,000万人 H87年度末 7,100万人 H88年度末 7,200万人 H89年度末 7,300万人 H90年度末 7,400万人 H91年度末 7,500万人 H92年度末 7,600万人 H93年度末 7,700万人 H94年度末 7,800万人 H95年度末 7,900万人 H96年度末 8,000万人 H97年度末 8,100万人 H98年度末 8,200万人 H99年度末 8,300万人 H100年度末 8,400万人 H101年度末 8,500万人 H102年度末 8,600万人 H103年度末 8,700万人 H104年度末 8,800万人 H105年度末 8,900万人 H106年度末 9,000万人 H107年度末 9,100万人 H108年度末 9,200万人 H109年度末 9,300万人 H110年度末 9,400万人 H111年度末 9,500万人 H112年度末 9,600万人 H113年度末 9,700万人 H114年度末 9,800万人 H115年度末 9,900万人 H116年度末 10,000万人 H117年度末 10,100万人 H118年度末 10,200万人 H119年度末 10,300万人 H120年度末 10,400万人 H121年度末 10,500万人 H122年度末 10,600万人 H123年度末 10,700万人 H124年度末 10,800万人 H125年度末 10,900万人 H126年度末 11,000万人 H127年度末 11,100万人 H128年度末 11,200万人 H129年度末 11,300万人 H130年度末 11,400万人 H131年度末 11,500万人 H132年度末 11,600万人 H133年度末 11,700万人 H134年度末 11,800万人 H135年度末 11,900万人 H136年度末 12,000万人 H137年度末 12,100万人 H138年度末 12,200万人 H139年度末 12,300万人 H140年度末 12,400万人 H141年度末 12,500万人 H142年度末 12,600万人 H143年度末 12,700万人 H144年度末 12,800万人 H145年度末 12,900万人 H146年度末 13,000万人 H147年度末 13,100万人 H148年度末 13,200万人 H149年度末 13,300万人 H150年度末 13,400万人 H151年度末 13,500万人 H152年度末 13,600万人 H153年度末 13,700万人 H154年度末 13,800万人 H155年度末 13,900万人 H156年度末 14,000万人 H157年度末 14,100万人 H158年度末 14,200万人 H159年度末 14,300万人 H160年度末 14,400万人 H161年度末 14,500万人 H162年度末 14,600万人 H163年度末 14,700万人 H164年度末 14,800万人 H165年度末 14,900万人 H166年度末 15,000万人 H167年度末 15,100万人 H168年度末 15,200万人 H169年度末 15,300万人 H170年度末 15,400万人 H171年度末 15,500万人 H172年度末 15,600万人 H173年度末 15,700万人 H174年度末 15,800万人 H175年度末 15,900万人 H176年度末 16,000万人 H177年度末 16,100万人 H178年度末 16,200万人 H179年度末 16,300万人 H180年度末 16,400万人 H181年度末 16,500万人 H182年度末 16,600万人 H183年度末 16,700万人 H184年度末 16,800万人 H185年度末 16,900万人 H186年度末 17,000万人 H187年度末 17,100万人 H188年度末 17,200万人 H189年度末 17,300万人 H190年度末 17,400万人 H191年度末 17,500万人 H192年度末 17,600万人 H193年度末 17,700万人 H194年度末 17,800万人 H195年度末 17,900万人 H196年度末 18,000万人 H197年度末 18,100万人 H198年度末 18,200万人 H199年度末 18,300万人 H200年度末 18,400万人 H201年度末 18,500万人 H202年度末 18,600万人 H203年度末 18,700万人 H204年度末 18,800万人 H205年度末 18,900万人 H206年度末 19,000万人 H207年度末 19,100万人 H208年度末 19,200万人 H209年度末 19,300万人 H210年度末 19,400万人 H211年度末 19,500万人 H212年度末 19,600万人 H213年度末 19,700万人 H214年度末 19,800万人 H215年度末 19,900万人 H216年度末 20,000万人 H217年度末 20,100万人 H218年度末 20,200万人 H219年度末 20,300万人 H220年度末 20,400万人 H221年度末 20,500万人 H222年度末 20,600万人 H223年度末 20,700万人 H224年度末 20,800万人 H225年度末 20,900万人 H226年度末 21,000万人 H227年度末 21,100万人 H228年度末 21,200万人 H229年度末 21,300万人 H230年度末 21,400万人 H231年度末 21,500万人 H232年度末 21,600万人 H233年度末 21,700万人 H234年度末 21,800万人 H235年度末 21,900万人 H236年度末 22,000万人 H237年度末 22,100万人 H238年度末 22,200万人 H239年度末 22,300万人 H240年度末 22,400万人 H241年度末 22,500万人 H242年度末 22,600万人 H243年度末 22,700万人 H244年度末 22,800万人 H245年度末 22,900万人 H246年度末 23,000万人 H247年度末 23,100万人 H248年度末 23,200万人 H249年度末 23,300万人 H250年度末 23,400万人 H251年度末 23,500万人 H252年度末 23,600万人 H253年度末 23,700万人 H254年度末 23,800万人 H255年度末 23,900万人 H256年度末 24,000万人 H257年度末 24,100万人 H258年度末 24,200万人 H259年度末 24,300万人 H260年度末 24,400万人 H261年度末 24,500万人 H262年度末 24,600万人 H263年度末 24,700万人 H264年度末 24,800万人 H265年度末 24,900万人 H266年度末 25,000万人 H267年度末 25,100万人 H268年度末 25,200万人 H269年度末 25,300万人 H270年度末 25,400万人 H271年度末 25,500万人 H272年度末 25,600万人 H273年度末 25,700万人 H274年度末 25,800万人 H275年度末 25,900万人 H276年度末 26,000万人 H277年度末 26,100万人 H278年度末 26,200万人 H279年度末 26,300万人 H280年度末 26,400万人 H281年度末 26,500万人 H282年度末 26,600万人 H283年度末 26,700万人 H284年度末 26,800万人 H285年度末 26,900万人 H286年度末 27,000万人 H287年度末 27,100万人 H288年度末 27,200万人 H289年度末 27,300万人 H290年度末 27,400万人 H291年度末 27,500万人 H292年度末 27,600万人 H293年度末 27,700万人 H294年度末 27,800万人 H295年度末 27,900万人 H296年度末 28,000万人 H297年度末 28,100万人 H298年度末 28,200万人 H299年度末 28,300万人 H300年度末 28,400万人 H301年度末 28,500万人 H302年度末 28,600万人 H303年度末 28,700万人 H304年度末 28,800万人 H305年度末 28,900万人 H306年度末 29,000万人 H307年度末 29,100万人 H308年度末 29,200万人 H309年度末 29,300万人 H310年度末 29,400万人 H311年度末 29,500万人 H312年度末 29,600万人 H313年度末 29,700万人 H314年度末 29,800万人 H315年度末 29,900万人 H316年度末 30,000万人 H317年度末 30,100万人 H318年度末 30,200万人 H319年度末 30,300万人 H320年度末 30,400万人 H321年度末 30,500万人 H322年度末 30,600万人 H323年度末 30,700万人 H324年度末 30,800万人 H325年度末 30,900万人 H326年度末 31,000万人 H327年度末 31,100万人 H328年度末 31,200万人 H329年度末 31,300万人 H330年度末 31,400万人 H331年度末 31,500万人 H332年度末 31,600万人 H333年度末 31,700万人 H334年度末 31,800万人 H335年度末 31,900万人 H336年度末 32,000万人 H337年度末 32,100万人 H338年度末 32,200万人 H339年度末 32,300万人 H340年度末 32,400万人 H341年度末 32,500万人 H342年度末 32,600万人 H343年度末 32,700万人 H344年度末 32,800万人 H345年度末 32,900万人 H346年度末 33,000万人 H347年度末 33,100万人 H348年度末 33,200万人 H349年度末 33,300万人 H350年度末 33,400万人 H351年度末 33,500万人 H352年度末 33,600万人 H353年度末 33,700万人 H354年度末 33,800万人 H355年度末 33,900万人 H356年度末 34,000万人 H357年度末 34,100万人 H358年度末 34,200万人 H359年度末 34,300万人 H360年度末 34,400万人 H361年度末 34,500万人 H362年度末 34,600万人 H363年度末 34,700万人 H364年度末 34,800万人 H365年度末 34,900万人 H366年度末 35,000万人 H367年度末 35,100万人 H368年度末 35,200万人 H369年度末 35,300万人 H370年度末 35,400万人 H371年度末 35,500万人 H372年度末 35,600万人 H373年度末 35,700万人 H374年度末 35,800万人 H375年度末 35,900万人 H376年度末 36,000万人 H377年度末 36,100万人 H378年度末 36,200万人 H379年度末 36,300万人 H380年度末 36,400万人 H381年度末 36,500万人 H382年度末 36,600万人 H383年度末 36,700万人 H384年度末 36,800万人 H385年度末 36,900万人 H386年度末 37,000万人 H387年度末 37,100万人 H388年度末 37,200万人 H389年度末 37,300万人 H390年度末 37,400万人 H391年度末 37,500万人 H392年度末 37,600万人 H393年度末 37,700万人 H394年度末 37,800万人 H395年度末 37,900万人 H396年度末 38,000万人 H397年度末 38,100万人 H398年度末 38,200万人 H399年度末 38,300万人 H400年度末 38,400万人 H401年度末 38,500万人 H402年度末 38,600万人 H403年度末 38,700万人 H404年度末 38,800万人 H405年度末 38,900万人 H406年度末 39,000万人 H407年度末 39,100万人 H408年度末 39,200万人 H409年度末 39,300万人 H410年度末 39,400万人 H411年度末 39,500万人 H412年度末 39,600万人 H413年度末 39,700万人 H414年度末 39,800万人 H415年度末 39,900万人 H416年度末 40,000万人 H417年度末 40,100万人 H418年度末 40,200万人 H419年度末 40,300万人 H420年度末 40,400万人 H421年度末 40,500万人 H422年度末 40,600万人 H423年度末 40,700万人 H424年度末 40,800万人 H425年度末 40,900万人 H426年度末 41,000万人 H427年度末 41,100万人 H428年度末 41,200万人 H429年度末 41,300万人 H430年度末 41,400万人 H431年度末 41,500万人 H432年度末 41,600万人 H433年度末 41,700万人 H434年度末 41,800万人 H435年度末 41,900万人 H436年度末 42,000万人 H437年度末 42,100万人 H438年度末 42,200万人 H439年度末 42,300万人 H440年度末 42,400万人 H441年度末 42,500万人 H442年度末 42,600万人 H443年度末 42,700万人 H444年度末 42,800万人 H445年度末 42,900万人 H446年度末 43,000万人 H447年度末 43,100万人 H448年度末 43,200万人 H449年度末 43,300万人 H450年度末 43,400万人 H451年度末 43,500万人 H452年度末 43,600万人 H453年度末 43,700万人 H454年度末 43,800万人 H455年度末 43,900万人 H456年度末 44,000万人 H457年度末 44,100万人 H458年度末 44,200万人 H459年度末 44,300万人 H460年度末 44,400万人 H461年度末 44,500万人 H462年度末 44,600万人 H463年度末 44,700万人 H464年度末 44,800万人 H465年度末 44,900万人 H466年度末 45,000万人 H467年度末 45,100万人 H468年度末 45,200万人 H469年度末 45,300万人 H470年度末 45,400万人 H471年度末 45,500万人 H472年度末 45,600万人 H473年度末 45,700万人 H474年度末 45,800万人 H475年度末 45,900万人 H476年度末 46,000万人 H477年度末 46,100万人 H478年度末 46,200万人 H479年度末 46,300万人 H480年度末 46,400万人 H481年度末 46,500万人 H482年度末 46,600万人 H483年度末 46,700万人 H484年度末 46,800万人 H485年度末 46,900万人 H486年度末 47,000万人 H487年度末 47,100万人 H488年度末 47,200万人 H489年度末 47,300万人 H490年度末 47,400万人 H491年度末 47,500万人 H492年度末 47,600万人 H493年度末 47,700万人 H494年度末 47,800万人 H495年度末 47,900万人 H496年度末 48,000万人 H497年度末 48,100万人 H498年度末 48,200万人 H499年度末 48,300万人 H500年度末 48,400万人 H501年度末 48,500万人 H502年度末 48,600万人 H503年度末 48,700万人 H504年度末 48,800万人 H505年度末 48,900万人 H506年度末 49,000万人 H507年度末 49,100万人 H508年度末 49,200万人 H509年度末 49,300万人 H510年度末 49,400万人 H511年度末 49,500万人 H512年度末 49,600万人 H513年度末 49,700万人 H514年度末 49,800万人 H515年度末 49,900万人 H516年度末 50,000万人 H517年度末 50,100万人 H518年度末 50,200万人 H519年度末 50,300万人 H520年度末 50,400万人 H521年度末 50,500万人 H522年度末 50,600万人 H523年度末 50,700万人 H524年度末 50,800万人 H525年度末 50,900万人 H526年度末 51,000万人 H527年度末 51,100万人 H528年度末 51,200万人 H529年度末 51,300万人 H530年度末 51,400万人 H531年度末 51,500万人 H532年度末 51,600万人 H533年度末 51,700万人 H534年度末 51,800万人 H535年度末 51,900万人 H536年度末 52,000万人 H537年度末 52,100万人 H538年度末 52,200万人 H539年度末 52,300万人 H540年度末 52,400万人 H541年度末 52,500万人 H542年度末 52,600万人 H543年度末 52,700万人 H544年度末 52,800万人 H545年度末 52,900万人 H546年度末 53,000万人 H547年度末 53,100万人 H548年度末 53,200万人 H549年度末 53,300万人 H550年度末 53,400万人 H551年度末 53,500万人 H552年度末 53,600万人 H553年度末 53,700万人 H554年度末 53,800万人 H555年度末 53,900万人 H556年度末 54,000万人 H557年度末 54,100万人 H558年度末 54,200万人 H559年度末 54,300万人 H560年度末 54,400万人 H561年度末 54,500万人 H562年度末 54,600万人 H563年度末 54,700万人 H564年度末 54,800万人 H565年度末 54,900万人 H566年度末 55,000万人 H567年度末 55,100万人 H568年度末 55,200万人 H569年度末 55,300万人 H570年度末 55,400万人 H571年度末 55,500万人 H572年度末 55,600万人 H573年度末 55,700万人 H574年度末 55,800万人 H575年度末 55,900万人 H576年度末 56,000万人 H577年度末 56,100万人 H578年度末 56,200万人 H579年度末 56,300万人 H580年度末 56,400万人 H581年度末 56,500万人 H582年度末 56,600万人 H583年度末 56,700万人 H584年度末 56,800万人 H585年度末 56,900万人 H586年度末 57,000万人 H587年度末 57,100万人 H588年度末 57,200万人 H589年度末 57,300万人 H590年度末 57,400万人 H591年度末 57,500万人 H592年度末 57,600万人 H593年度末 57,700万人 H594年度末 57,800万人 H595年度末 57,900万人 H596年度末 58,000万人 H597年度末 58,100万人 H598年度末 58,200万人 H599年度末 58,300万人 H600年度末 58,400万人 H601年度末 58,500万人 H602年度末 58,600万人 H603年度末 58,700万人 H604年度末 58,800万人 H605年度末 58,900万人 H606年度末 59,000万人 H607年度末 59,100万人 H608年度末 59,200万人 H609年度末 59,300万人 H610年度末 59,400万人 H611年度末 59,500万人 H612年度末 59,600万人 H613年度末 59,700万人 H614年度末 59,800万人 H615年度末 59,900万人 H616年度末 60,000万人 H617年度末 60,100万人 H618年度末 60,200万人 H619年度末 60,300万人 H620年度末 60,400万人 H621年度末 60,500万人 H622年度末 60,600万人 H623年度末 60,700万人 H624年度末 60,800万人 H625年度末 60,900万人 H626年度末 61,000万人 H627年度末 61,100万人 H628年度末 61,200万人 H629年度末 61,300万人 H630年度末 61,400万人 H631年度末 61,500万人 H632年度末 61,600万人 H633年度末 61,700万人 H634年度末 61,800万人 H635年度末 61,900万人 H636年度末 62,000万人 H637年度末 62,100万人 H638年度末 62,200万人 H639年度末 62,300万人 H640年度末 62,400万人 H641年度末 62,500万人 H642年度末 62,600万人 H643年度末 62,700万人 H644年度末 62,800万人 H645年度末 62,900万人 H646年度末 63,000万人 H647年度末 63,100万人 H648年度末 63,200万人 H649年度末 63,300万人 H650年度末 63,400万人 H651年度末 63,500万人 H652年度末 63,600万人 H653年度末 63,700万人 H654年度末 63,800万人 H655年度末 63,900万人 H656年度末 64,000万人 H657年度末 64,100万人 H658年度末 64,200万人 H659年度末 64,300万人 H660年度末 64,400万人 H661年度末 64,500万人 H662年度末 64,600万人 H663年度末 64,700万人 H664年度末 64,800万人 H665年度末 64,900万人 H666年度末 65,000万人 H667年度末 65,100万人 H668年度末 65,200万人 H669年度末 65,300万人 H670年度末 65,400万人 H671年度末 65,500万人 H672年度末 65,600万人 H673年度末 65,700万人 H674年度末 65,800万人 H675年度末 65,900万人 H676年度末 66,000万人 H677年度末 66,100万人 H678年度末 66,200万人 H679年度末 66,300万人 H680年度末 66,400万人 H681年度末 66,500万人 H682年度末 66,600万人 H683年度末 66,700万人 H684年度末 66,800万人 H685年度末 66,900万人 H686年度末 67,000万人 H687年度末 67,100万人 H688年度末 67,200万人 H689年度末 67,300万人 H690年度末 67,400万人 H691年度末 67,500万人 H692年度末 67,600万人 H693年度末 67,700万人 H694年度末 67,800万人 H695年度末 67,900万人 H696年度末 68,000万人 H697年度末 68,100万人 H698年度末 68,200万人 H699年度末 68,300万人 H700年度末 68,400万人 H701年度末 68,500万人 H702年度末 68,600万人 H703年度末 68,700万人 H704年度末 68,800万人 H705年度末 68,900万人 H706年度末 69,000万人 H707年度末 69,100万人 H708年度末 69,200万人 H709年度末 69,300万人 H710年度末 69,400万人 H711年度末 69,500万人 H712年度末 69,600万人 H713年度末 69,700万人 H714年度末 69,800万人 H715年度末 69,900万人 H716年度末 70,000万人 H717年度末 70,100万人 H718年度末 70,200万人 H719年度末 70,300万人 H720年度末 70,400万人 H721年度末 70,500万人 H722年度末 70,600万人 H723年度末 70,700万人 H724年度末 70,800万人 H725年度末 70,900万人 H726年度末 71,000万人 H727年度末 71,1							

取り組みのきっかけ

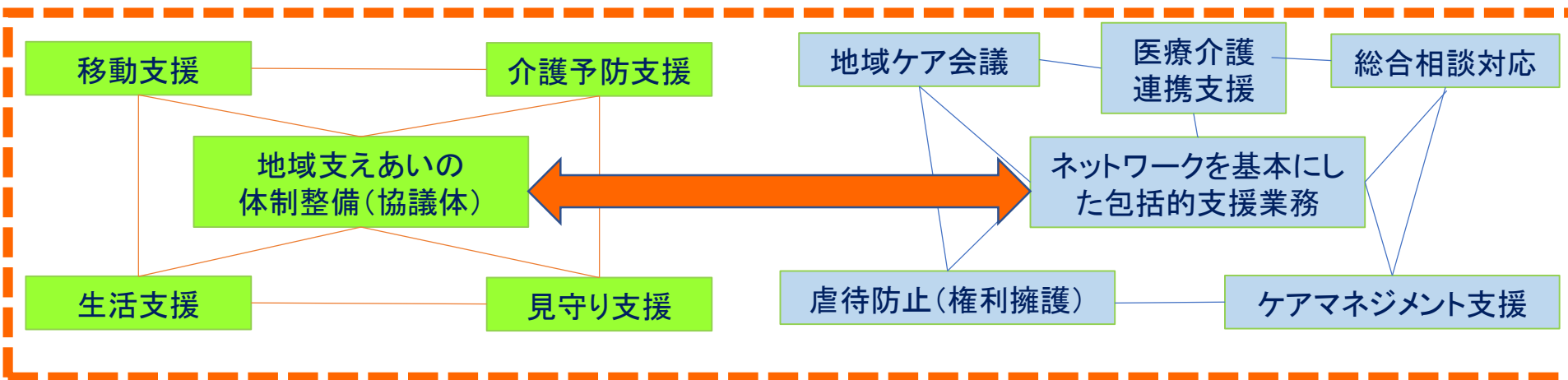
- 市施策、推進員の活動計画は出来たが、地域（圏域）で何を具体的にすればよいのかがわかりづらい。
- 地域包括支援センターの業務が介護保険サービスに依存しすぎていた（地域包括ケアとの距離感が否めなかった）。
- 「何年もかける時間がない・・・」実情があった。

佐賀市大和町圏域での取り組み (2017～)

- ◎大和町人口 22,930人 世帯数 9,170
(平成31年2月末。人口、世帯共に伸びている地域)
- ◎高齢者数 6,180人 (75歳以上は 2,995人)

【センター三カ年計画の基本方針 (2017-2019)】

センターは大和地域包括ケア実現のため、すべての人と資源とが「連携・連動」した地域づくりを基本にした事業を遂行していく。



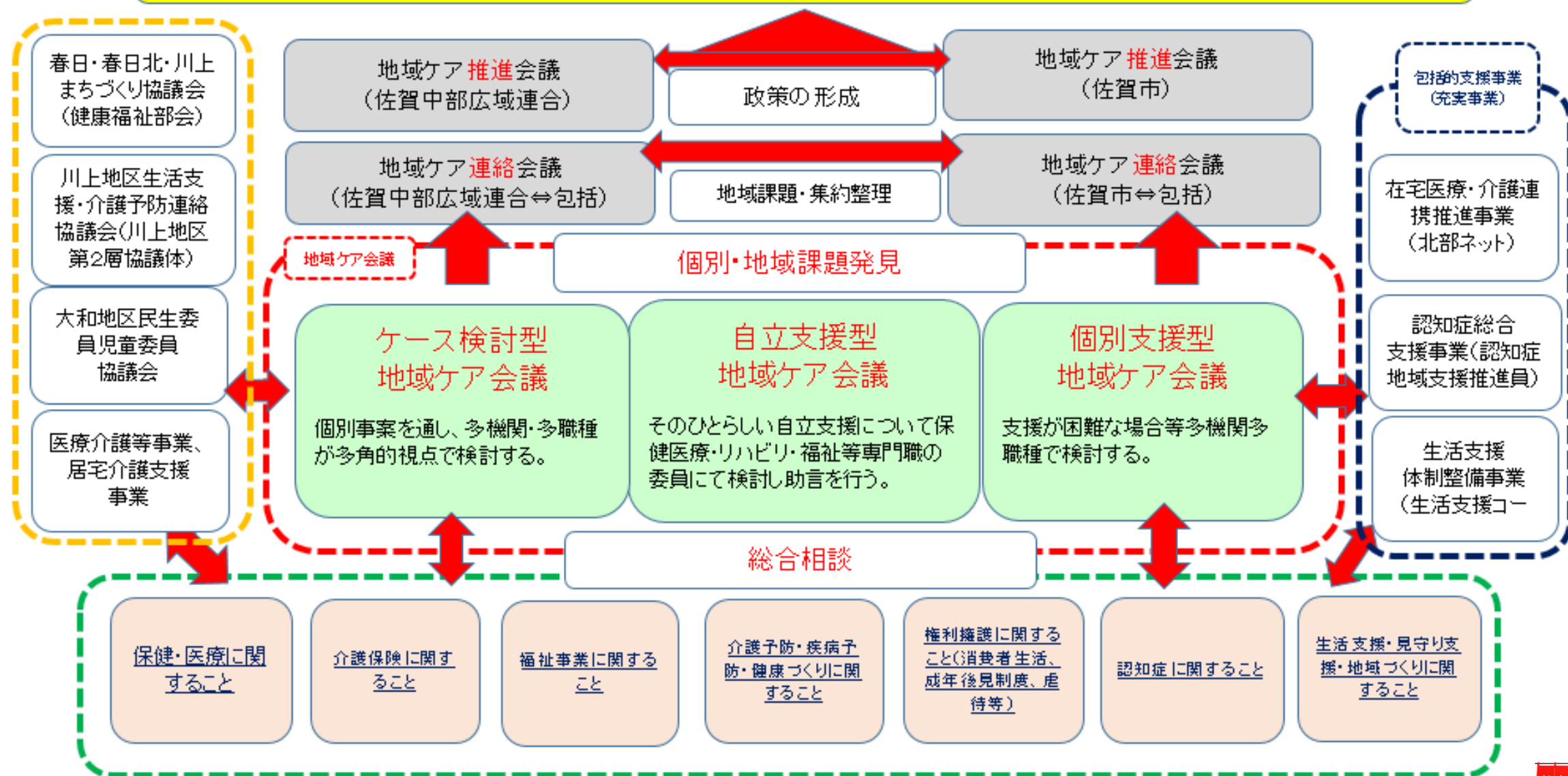
認知症の方への支援が届くように連携・連動しながら事業を展開



大和地域包括ケアの実現へ（連携・連動）

地域住民の安心・安全・QOLの向上!!

【介護予防と自立支援の充実】【生活支援体制の充実】【認知症施策の充実】【医療介護連携の充実】



介護予防教室（通いの場）との連携・連動

- 介護予防教室：介護・認知症予防に自ら取り組めるよう（自助）、地域の住民の支えあい（互助）で、週1回以上開催する通いの場。一般介護予防事業を活用。最初4ヶ月は委託事業者が支援しその後自主化へつなげる。
- 一教室あたり15名～（自治会の実情に合わせる）
- 数値目標：町内25教室以上、登録者数は高齢者人口の1割の600名以上。
- 開拓のためにあらゆる地域に何度も出向く。
- 自治会やまちづくり協議会が教室をバックアップしてもらえるように支援。
- 各教室には世話人を3名以上設ける。
- 教室では認知症を持つ人や介護者の参加もできるように、認知症サポーターや講座の開催を行う。
- 教室参加者だけではなく、参加者の身近な方の相談を世話人が受け、世話人から民生委員や地域包括支援センターへ連絡できる仕組み。認知症の方の早期発見や対応

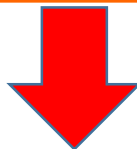


介護予防教室（通いの場）との連携・連動



本人・家族

(認知症の相談、生活支援について、介護の方法、不安・・・)



教室の世話人や仲間たち



民生委員



地域包括支援センター
(推進員・職員)



必要性におうじて、専門医療機関、ほかの地域支援、介護保険対応などを検討し、支援構築を広げる。

介護予防教室は介護予防や認知症予防だけでなく、
地域のなかの見守り支援の役割も果たしている

介護予防教室（通いの場）との連携・連動

■介護予防教室「世話人」部会

目的：教室世話人が集まり、教室の状況、課題、取り組みなど共有できるようにする。

内容：取り組みのマンネリ化、参加者の減少（増加）
認知症の方への支援

開催：部会は定期開催（今年度は4回）



■介護予防教室「支援事業所」部会

専門的にかかわりによる支援を行うことで、参加者の介護予防取り組みの向上を図る。教えてもらったことを教室で継続できる。

「介護予防の頑張りすぎ」の防止。体力測定の実施。

支援事業所：施設サービス事業所（特養・老健）、
在宅サービス事業（CM・通所リハ・通所介護
訪問介護・グループホーム・小規模多機能）、
病院、歯科、リハビリ、薬局、栄養士、福祉用具）



地域ケア会議との連携・連動

定期開催

【自立支援型】

開催：毎月第2水曜日13:00～14:00

委員：【医師、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、保健師、主任CM、生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員】

地域ケア会議が持つ会議機能（個別・地域課題発見や支援ネットワーク構築機能など）を活用し、認知症施策にも結びつけて展開。認知症地域支援推進員が会議の進行を行っています。

【認知症＝個別・地域課題や困難ケースと捉えられないように留意しています】

定期開催

【多職種ケース検討型】

開催：奇数月第3水曜日13:30～15:30

運営：多職種ケース検討部会

参加：保健医療・介護・福祉等専門職、民生委員及び住民



【個別支援検討型】

開催：（随時）必要時

時間：相当時間

委員：対象者に関りがある機関

多職種ケース検討型地域ケア会議では個別ケースに応じたミニ研修も実施。2018年度は認知症（若年性認知症含む）支援について3回実施



地域ケア会議との連動

個別・地域の課題⇒地域ケア会議(3本立)⇒実践⇒評価

個別・地域の問題点

- ・たとえ認知症を有していてももっと心も身体も元気になりたい
- ・具体的な支援策が見当たらない
- ・認知症により行方不明の可能性
- ・食生活の偏りで低栄養状態
- ・内服が出来ていない
- ・ヘルパーに家政婦同様の要求
- ・買い物やゴミだしが困難で施設入所希望

地域ケア会議(課題明確、解決に糸口)

＊ 個別(地域)課題をひもとき目的に応じた検討を行う＊

- ①事例概要説明
- ②事例概要を掘り下げるための検討と質疑応答(課題明確)
- ③情報の整理
- ④手立ての提示(課題に対する支援等提示、助言)
- ⑥個別(地域)課題解決に向けたまとめ

政策
形成

地域ケア
推進会議

地域ケア
連絡会議

地域(フォーマル・インフォーマル)での支援

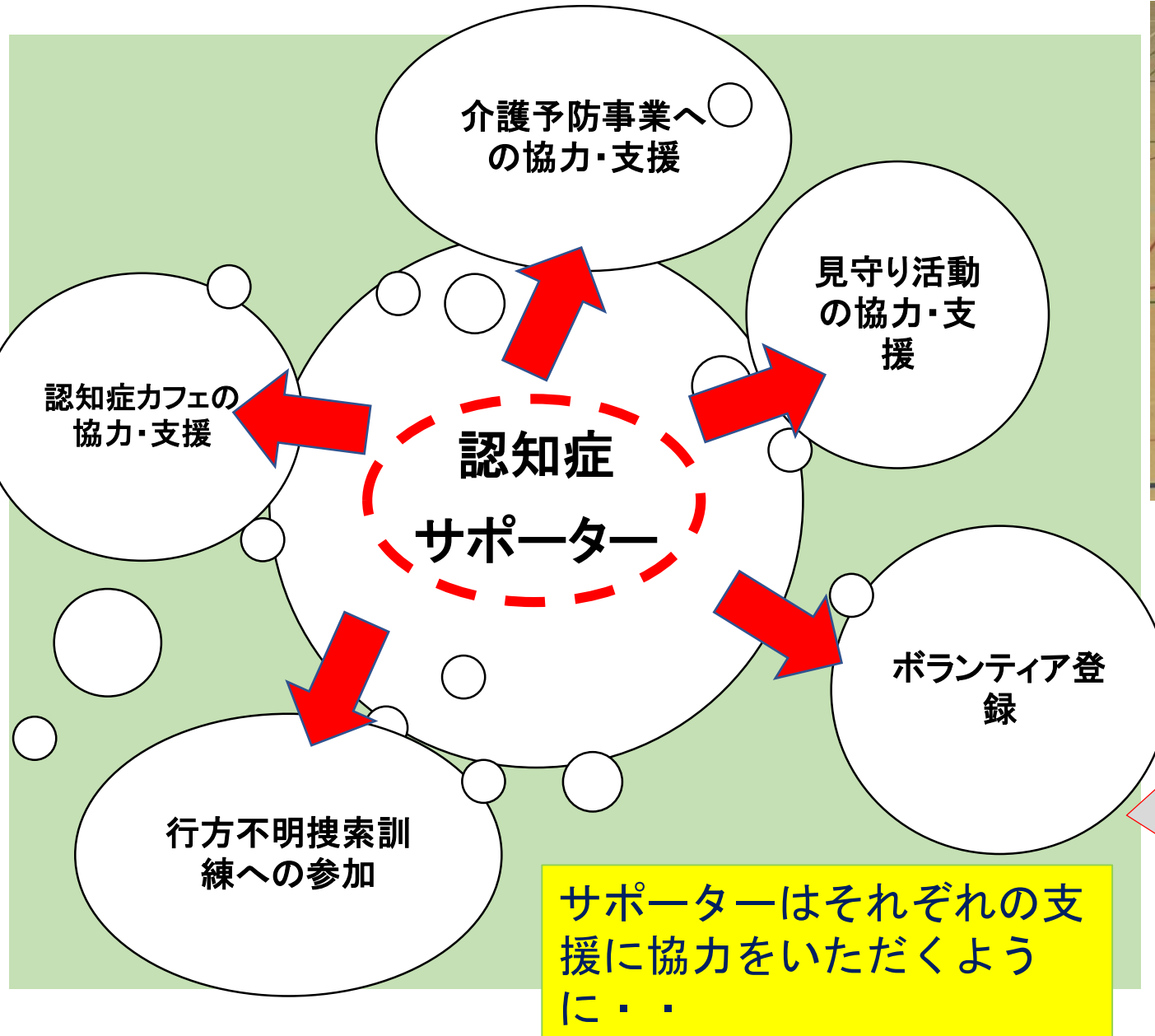
＊ 地域で在宅での生活の限界点を上げる＊

- ・家族、近所等で見守り支援体制構築と事業所連携。
- ・自立支援に向けた取り組み(ケアプラン位置づけ)
- ・栄養相談、医療との連携、配食利用
- ・ヘルパーの役割、制度の説明と理解
- ・生活支援(買い物・ゴミだしなど)

評価

ケアプラン
に反映
・実行

認知症サポーターからその先へ



小学校での認知症サポーター養成講座
認知症地域支援推進員が地域の垣根を越えて協力して開催しています。

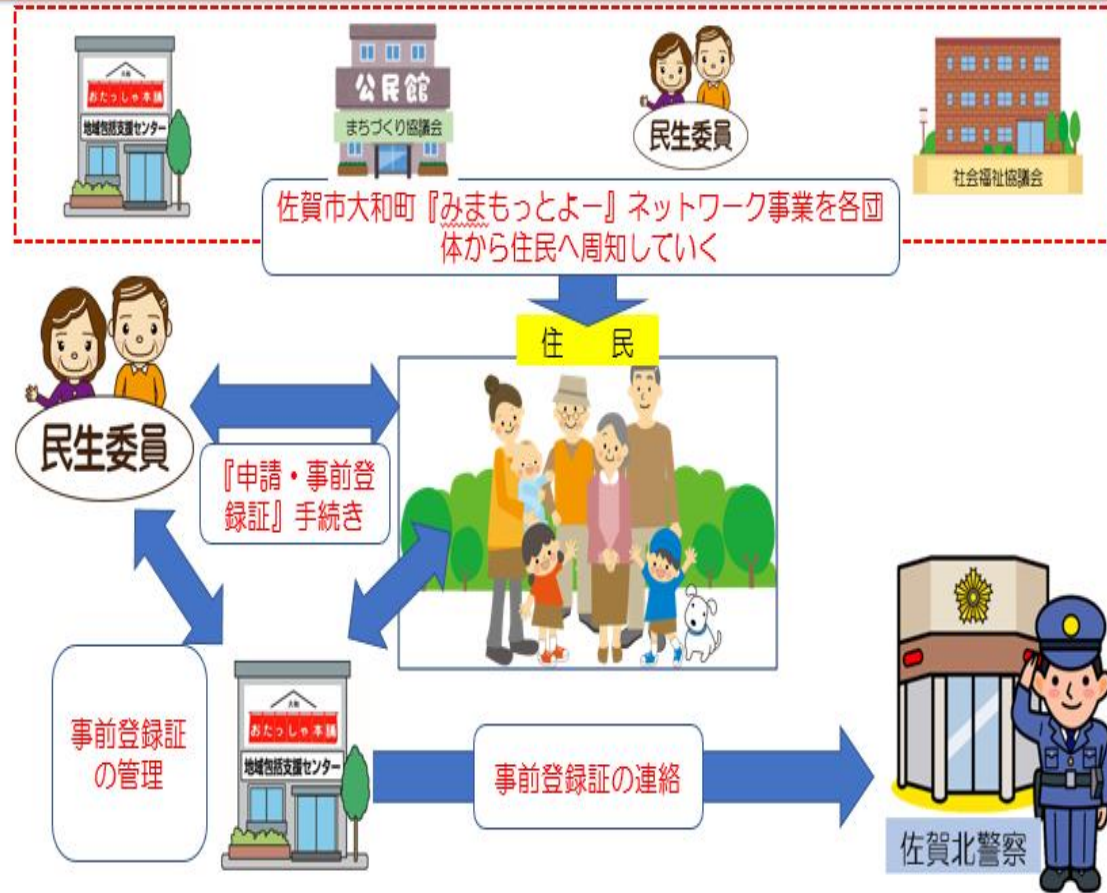
企業、官公庁、学校、自治会、住民組織などいろいろな場面で講座を開催。サポーターのみなさんに地域づくりや地域での活動について考えてもらい、実践につなげてもらおうとしています。

見守り支援

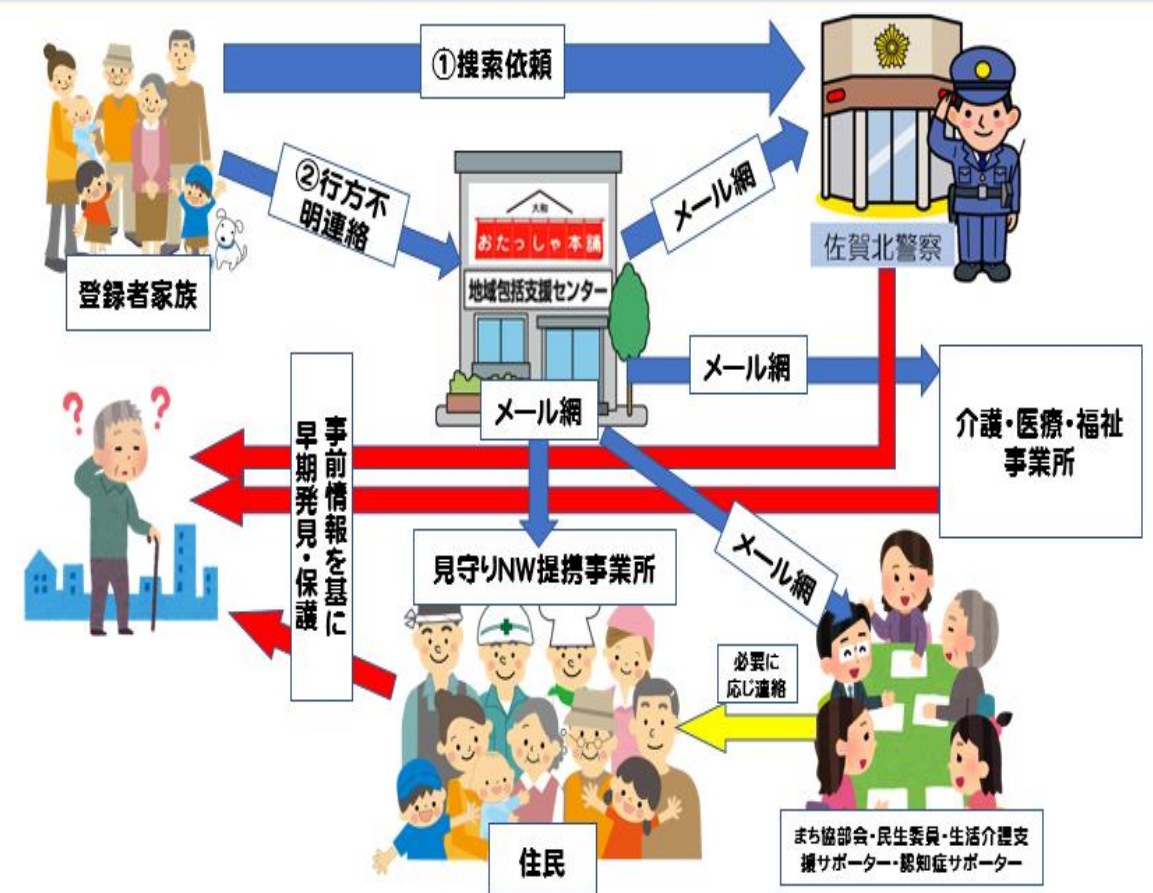
佐賀市大和町見守り支援

『みまもつとよー』ネットワーク

ネットワーク事業の周知と事前登録の流れ



行方不明発生時の流れ



佐賀県認知症介護指導者との連携

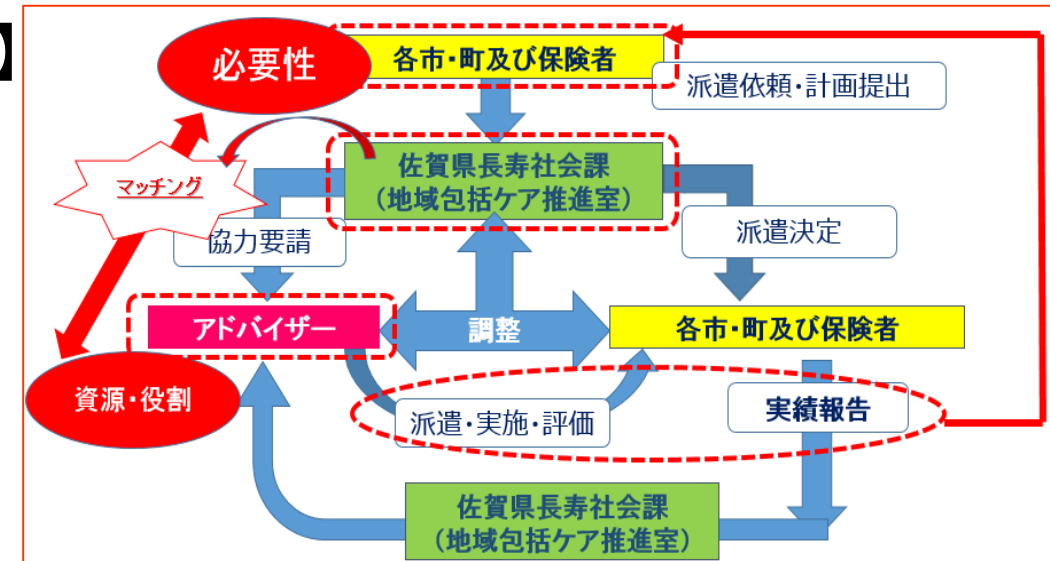
【認知症介護指導者とは】

認知症介護指導者養成研修を受講。主な役割として認知症介護実践研修等やその他研修・事業について、企画・立案に参画し、講義、演習、実習を担当。専門職に対する人材育成の関与に加え、認知症介護指導者自身が所属する事業所を中心とした地域の指導者としての役割も担っています。平成27年度末現在、全国で2,000名。佐賀県は25名。



【佐賀県地域包括ケア推進アドバイザー派遣事業】

県内の市・町、介護保険者が「**地域包括ケアシステムの構築**」に向けて取り組む、認知症施策や医療・介護連携、介護予防、生活支援サービス体制の整備等について、**専門職**を派遣し専門的な助言やサポートを行う。平成29年度より開始。派遣分野は、「認知症施策」「医療・介護連携」「介護予防」「生活支援サービス体制の整備」



活動成果・課題・今後の取り組みの方向性

【活動を通して】

➤ 生活支援コーディネーターとの兼務、加えて地域包括支援センターへの配置により、地域づくりや地域ケア会議、総合相談窓口機関などの強みを活かした推進員活動が展開できている。

➤ 総合相談のルートが増えてきた。

総合相談 実員数	介護保険 関連	介護予防 関連	福祉サービス 関連	権利擁護 関連	高齢者虐待 関連	認知症 関連
合 計	397	591	51	33	34	175

➤ 認知症支援に特化するのではなく他の事業や業務と連携、連動しながらの支援体制構築が図れつつある。

➤ 「体制づくり三ヵ年」という期間がちょうど良かった。

【活動の課題】

➤ 煩雑すぎて、忙しすぎた。

➤ うちの認知症施策は「コレ」といった目玉がまだ存在していない！

【今後の方向性】

➤ できれば、うちの認知症施策といえば「コレ」を創出したい！

➤ センター三ヵ年計画の最終年度のため評価を行い、次期計画をつくりあげる（人員確保）

みなさまへ・・・

どんなところにも積極的に出向く！

新たな資源開発より今ある資源をリニューアル！

ほかの事業・業務とともに！

一人二人ではなく仲間を増やす！

自分が楽しむ！

ご清聴ありがとうございました。

本日はありがとうございました。
ぜひ、佐賀へお越し下さい！

おたっしや本舗

